

1 校 訓 「自学・誠心・敬愛」

2 教育目標 「自ら学ぶ意欲をもち、他とのかかわりを大切にし、
心豊かにたくましく生き抜く子の育成」

3 めざす児童像

「課題意識を持ち、ねばり強く最後まで課題を解決しようとする児童」

- ・よく考え進んで行動する子(知)
- ・温かく思いやりのある子(徳)
- ・粘り強くやりぬく子(体)

4 めざす教師像

「子どもの成長が見える、変化が実感できる学校」 ～ 学ぶ 鍛える 競う ～

- ・子ども達の無限の可能性に向け、積極的に指導する教師
- ・個や集団の教育指導力向上をめざし、学び合い、高め合う教師
- ・責任と使命感を持ち、活力ある組織に参画する教師

5 中・長期的目標

(1) 学校の現状と課題

①学びの姿勢について

- ・基本的な学習習慣は身につけてきている。全校統一テストや家庭学習など補充学習による基礎基本の定着がみられる。自分の考えを表現し、かかわり合いながら学ぶ姿勢を育てたい。「読む」「聞く」「書く」「話す」などの言語活動充実の取組を継続していきたい。

②豊かな心の育ちについて

- ・やさしさや思いやりがある温かい人間関係である。ふるさとや人を愛する道徳教育を推進し、児童に、思いやり、感謝、郷土愛の心を育みたい。

③健康体力について

- ・スポチャレいしかわの3種目を学期ごとに全校で取り組んだ。体力・運動能力調査では、ほぼ高い状態を維持できた。運動が好きな児童も多い。今年度は走ることに重点的をおき、スポチャレの推進をし、体力向上を図りたい。

④組織・運営について

- ・前年度の課題や成果をもとに継承や改善の検討を行ったことを提案するなど、学校運営に積極的に参画している。学校経営ビジョン実現に向け、取組の徹底と継続を図り、各主任の進捗状況をとらえた指導助言による組織的な運営を行っていきたい。

(2) 中・長期的目標

- ・知育・徳育・体育のバランスのとれた児童の育成をめざす。
- ・わかる楽しさを実感させ、自ら学ぶ授業を追求し、学力の向上を目指す。
- ・人とのかかわり合いを大切に、豊かでたくましい心の育成を目指す。
- ・健康や体力、安全に関心を持ち、健やかな心と体の育成を目指す。
- ・学習規律や生徒指導の充実により、安心安全で楽しい学校づくりを進める。
- ・地域や保護者への情報発信や積極的な人材活用に努める。

6 今年度の学校経営重点目標

- ① 学力向上・指導力向上
- ② 豊かな心の育成・生徒指導の充実
- ③ 体力向上・危機管理の育成
- ④ 開かれた学校づくりの推進・家庭地域との連携

7 重点目標達成のための具体的取り組み

① 学力向上・指導力向上を図るために

- ・「いしかわ学びの指針12か条+」に基づいた指導力と学力向上，その体制づくりに努める。
- ・教育委員会指導主事等を積極的に活用し，授業改善を行い，指導力向上を目指す。
- ・勉強がわかる楽しさを実感させ，自ら学ぶ，かかわり合いながら学ぶ力の育成を図る。
- ・児童の実態に応じた指導の工夫を通し，学習意欲の向上を図る。
- ・読む・書く・聞く・話すなど表現力を高める場を設定し，言語活動を充実する。
- ・学習ルールの一貫や相互授業参観などを通して，学習規律や学習習慣の定着を図る。
- ・一人一人の学習到達状況を把握し，学力調査に向けて計画的な指導をする。
- ・学校全体での取組の徹底と継続を行い，組織的な学校運営を図る。
- ・教育財産を共有化し，互いに学び，高め合い，個や集団の指導力を高める。

② 豊かな心の育成・生徒指導の充実を図るために

- ・道徳教育の充実を図り，感謝，思いやり，郷土愛の道徳的態度や実践力を育てる。
- ・思いやりのある言葉遣いと場に応じたあいさつを身につけさせる。
- ・児童会活動や各種行事などで活躍の場を設定し，自己有用感と自己存在感を高める。
- ・異学年交流で思いやりや協力する態度を育て，各自の役割実行で自己存在感を高める。
- ・多様な活動を通して読書意欲を高め，心豊かな児童の育成に努める。
- ・特別支援教育において，児童理解と指導方針の共通化を図り，自己肯定感と自信を持って学校生活を送れるよう支援する。

③ 体力向上・危機管理の育成を図るために

- ・体育などのスポーツ活動を通して，健康な体と集団としての規律を育成する。
- ・体力向上プランや運動能力調査から，日々の教育活動を通し，体力の向上を図る。
- ・適度な競争意識を与え，賞賛や評価を行い，挑戦意欲を湧き上げる。
- ・健康調査を行い，早寝・早起き・朝食摂取等基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・避難訓練等を通じ，児童の危機予測・事故回避能力を育成し，防災意識を高める。
- ・生徒指導や保健安全指導を充実し，安全安心で楽しい学びの場とする。
- ・危機管理において組織的対応を行い，迅速な報告・連絡・相談による早期解決を図る。

④ 開かれた学校づくりの推進・家庭地域との連携を図るために

- ・年間を通じた学校公開，スクールフォーラムの学校経営説明，学校・学年通信の発行，学校ホームページの更新を行い，積極的な情報公開に努める。
- ・学校評価や各種外部委員の指導助言を学校運営に反映し，教育の質的向上を図る。
- ・学校と家庭が，素早い連絡や相談を行い，信頼と安心を築くとともに，地域も一体となり，安全管理の徹底を図る。
- ・幼保小・小中との情報連携や行動連携，公民館行事の参加，地域の伝統芸能伝承活動や教育活動の人材活用を行い，教育のつながりを広げる。